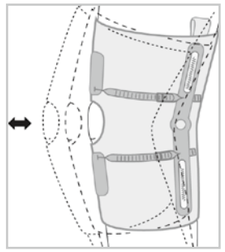
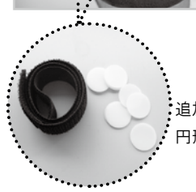


図⑧ -a

図⑧ -b

⑧ 医師の指示に従って慎重に屈曲と伸展を行い、機能の最終確認をします（図⑧ -a）。
膝蓋骨サポート（2）の 2 組の穴を使用してラチェットストラップバックルの取付位置を変更し、微調整をすることができます。
必要に応じて、円形面ファスナーで、装具の上下端に追加のストラップ（メスの面ファスナー製）を取付けることもできます。追加ストラップのメス側を下にし、 必要な数の円形面ファスナーで本体に留めてください（図⑧-b）。

図⑨

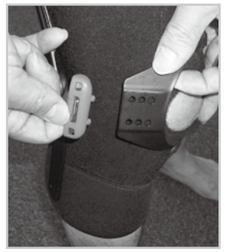


ラチェットストラップバックル（6）

■装具の位置調整
ラチェットストラップバックル（6）を開けます（図⑨）。

装具中央の開口部が膝蓋骨の中央になるように、本体上部の装着ループを持って装具全体ををを引っ張ります。

調整ができたら、ラチェットストラップバックル（6）を閉じます。



図⑩ -a

図⑩ -b

■取外し方法
ラチェットストラップバックルを開けるだけで、装具を簡単に取外すことができます（図⑩ -a、⑩- b）。

【お手入れ方法と注意事項】

⚠ 注意	● お手入れをされる場合には、取扱説明書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

・ラチェットストラップバックルを閉じてからお手入れしてください。

【品質表示】

本体： ナイロン、ポリウレタン、熱可塑性ポリウレタン、熱可塑性ポリエステルエラストマー、ポリエステルフォーム
ポリウレタン弾性繊維
バネ： スチール　　支柱・バックル：プラスチック

お問合わせ先

掲載内容の無断使用禁止
掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元
オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp
〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F　TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

オットーボック装具　取扱説明書 ②　（製品篇）
8320　パテラプロ

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書①（基本篇）と取扱説明書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。
また取扱説明書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

『8320 パテラプロ』は、膝蓋骨の不安定性に対して内側方向に的確なテンションを与えることで、膝蓋骨が生理学的な位置でトラッキングするよう動的にアライメントを調整する膝関節装具です。

8320 パテラプロ

⚠ 注意	● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

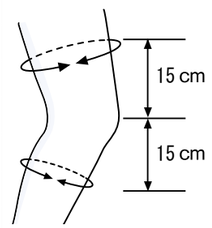
【特徴】

装着者の状況に合わせて機能性を高めるために、各パーツの位置を調節してアライメント調整ができるように設計されています。最初にパーツ位置を設定した後は、装着のたびに調節する必要がなく簡単に着脱することができます。

【サイズの選び方】

左右、サイズを選択してください。　　（一箱 :1 個入り）

発注品番	右左/サイズ		適用範囲	
			大腿部周径(cm)	下腿部周径(cm)
8320=R-XS	右	XS	40.0 ～ 44.0	32.0 ～ 35.0
8320=R-S		S	44.0 ～ 48.0	35.0 ～ 38.0
8320=R-M		M	48.0 ～ 52.0	38.0 ～ 41.0
8320=R-L		L	52.0 ～ 56.0	41.0 ～ 44.0
8320=R-XL		XL	56.0 ～ 61.0	44.0 ～ 48.0
8320=L-XS	左	XS	40.0 ～ 44.0	32.0 ～ 35.0
8320=L-S		S	44.0 ～ 48.0	35.0 ～ 38.0
8320=L-M		M	48.0 ～ 52.0	38.0 ～ 41.0
8320=L-L		L	52.0 ～ 56.0	41.0 ～ 44.0
8320=L-XL		XL	56.0 ～ 61.0	44.0 ～ 48.0

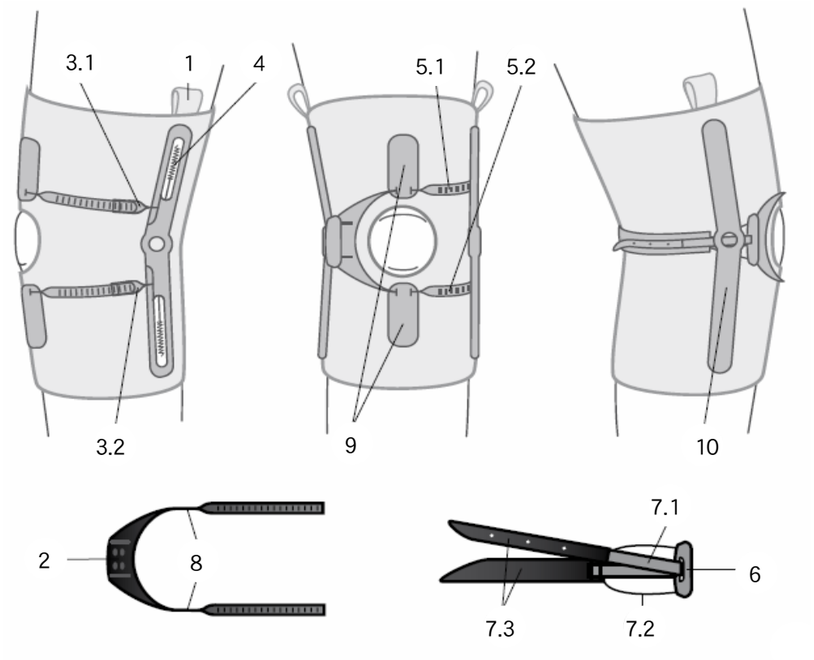


※ 計測値が 2 サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。【サイズの測り方】
イラストのように膝蓋骨中心から 15cm 上の大腿部周径と、15cm 下の下腿部周径を測定します。

【調整方法と装着手順】

⚠ 注意	● 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。

装着前に取扱説明書①基本篇の【使用上の注意―必ずお読みくださいー】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。（写真は右足での手順を示しています。）

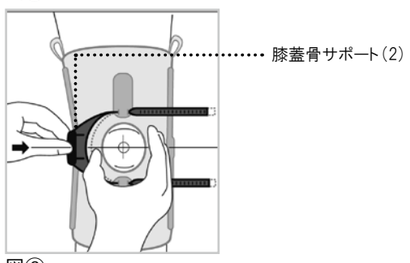


【構成部品】

1　装着ループ
2　膝蓋骨サポート
3.1　上部ラチェットフック
3.2　下部ラチェットフック
4　バネ（支柱内臓）
5.1　上部ラチェットストラップ
5.2　下部ラチェットストラップ
6　ラチェットストラップバックル
7　ダイナミックテンションパーツ
7.1　アライメントストラップ (高強度)
7.2　弾性ゴムバンド
7.3　ダイナミック
　テンションパーツ面ファスナー
8　ガイドチャネル
9　ガイド面ファスナー
10　支柱

図①

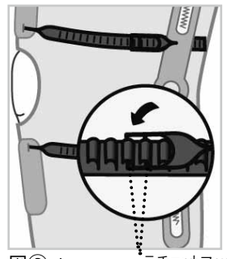
① 本体上部の両側にある装着ループ (1) を持ち、引っ張りながら、装具中央の開口部が膝蓋骨の中心にくるように装着します (図①)。



図②

② 膝関節の屈曲角度が 20 ～ 30 度になるようにして、膝蓋骨を注意深くつかみながら、膝蓋骨サポート (2) を膝蓋骨の外側に添わせます（図②)。

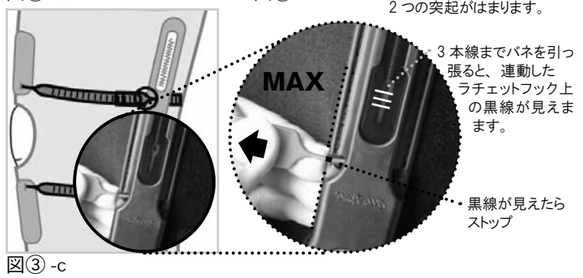
図③ -a



図③ -b

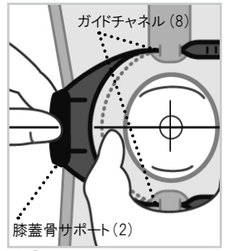
③ 支柱に内臓されたバネ (4) にややテンションをかけながら上部ラチェットフック (3.1) を上部ラチェットストラップ (5.1) に留めます（図③ -a)。同様に、下部ラチェットフック (4.1) を下部ラチェットストラップ（3.2）に留めます。

この時、各ラチェットフックにラチェットストラップの 2 つの突起がはまるようにしてください (図③- b)。

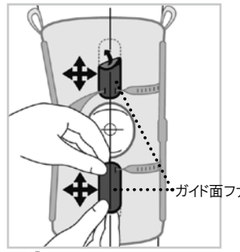


図③ -c

初期テンションの最大値は、ラチェットフック上の黒線と支柱 (10) の3本線の印で示されています (図③- c)。ラチェットフックの黒線を支柱の端に合わせ、最大初期テンションになるように調整します。



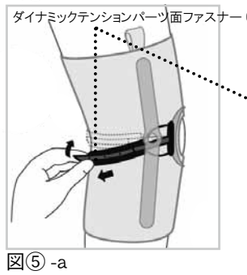
図④ -a



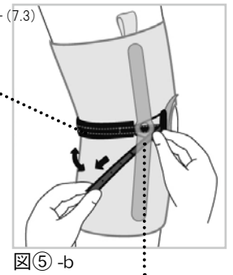
図④ -b

④ 膝蓋骨サポート (2) を膝蓋骨外縁部に合わせるように位置を決め、固定します。
膝蓋骨サポートは、上下のガイドチャネル (8) をガイド面ファスナー (9) に通して装具本体に固定します（図④)。

必要に応じて、ガイド面ファスナーを再度調整します。

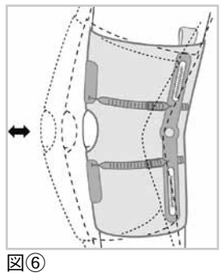


図⑤ -a


図⑤ -b

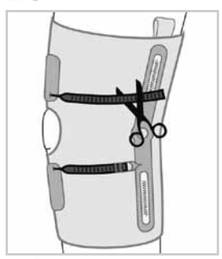
⑤ 背面部のダイナミックテンションパーツ面ファスナー (7.3) の位置を、内側または外側に移動させます。
その際、必要に応じて 2 本重なった状態の面ファスナーを別々に移動させることも可能です (図⑤ -a, ⑤ -b)。

その後、負荷をかけた状態で上のアライメントストラップ (7.1) の調節を行いながら、アライメント調整を行います (図⑤ - b)。


図⑥

⑥ 医師の同席のもとで、指示に従って慎重に膝の屈曲と伸展を行い、装具が適切に機能すること、位置が正しいことなどを確認してください (図⑥)。

必要に応じて、前面部はラチェットストラップにより、背面部はダイナミックテンションパーツとアライメントストラップにより、それぞれの再調整を行なってください。


図⑦

⑦ ラチェットストラップが長い場合は、ラチェットストラップからラチェットフックを外し , ラチェットストラップを短くカットした後、切り口の角とバリを取ります（図⑦)。

参考：フックが固定されているラチェットの位置を数え、切り取る位置に印を付けておくと、分かりやすくなります。